



警察危機管理防災委員会にて発言する

命誇緑

埼玉県議会活動報告

感動県政 あさのめ新聞

発行・連絡先 埼玉県議会 民主党・無所属の会 さいたま市浦和区支部

11.01.15
Vol.017

「パーパーどこにいるの？」 県民の命を守るどうしよう

平成22年9月1日、県防災ヘリコプター墜落事故殉職者合同葬に参列した。埼玉県秩父市大滝ぶどう沢で、県の防災ヘリコプター「あらかわ1」が、山岳遭難者の救活動中に墜落した事故が起きたのは同年7月25日。

殉職されたのは、県防災航空隊員の中込良昌さん(42)、同じく戸張憲一さん(32)、秩父消防本部隊員の大沢敦さん(33)、運航を委託されていた本田航空機長の松本章さん(54)、同副操縦士の西川真一さん(32)の5名。
職場や家庭で信頼をされていた立派な5人だったはずなのに。

ご家族の無念はいかばかりだろう。転落し救助要請した女性を救うために、当時雷雨が襲うなか彼らは出動した。命を救う仕事を我が身を顧みずに果たしていった5人の命がこの時一瞬にして天に帰った。



墜落したあらかわ1

敬意を示す弔辞を述べた。二度とこのような悲惨な事故は起こしてはならない。「山岳救助活動ガイドライン」を早く作成するべきだろう。理念引き継ぐ後継機も一刻も早く用意しなければならぬ。
会場内で「パーパーどこにいるの？」との幼子の声が響いたが、殉職者の志と遺族の思いに報いてさしあげたい。
県は「命を守る」施策を様々な所で行っている。改めて肝に命じ、県議として私も力を尽くしたい。
浅野目義英



約1500人が献花をした

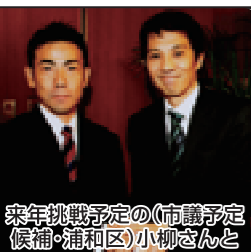
●ご意見・ご要望などお寄せください●

あさのめページにお越しく下さい ブログほぼ毎日更新

<http://www.asanome.com>

mail: info@asanome.com TEL:048-883-6560

埼玉県議会 民主党・無所属の会 さいたま市浦和区支部 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501



来年挑戦予定の(市議予定候補・浦和区)小柳さんと



ご支援ありがとうございます!
2007年4月 → 2011年3月
県議としての任期ももう少しで終わろうとしています。

カー一杯働かせていただきました!

駅頭から春夏秋冬
「おほよございませー! 県政報告」

年に一度。大規模な「県政報告会」



2007年

武正代議士 国会報告会で「県政報告」



2010年



2008年



2009年

▲県議会での活動を様々な場所でキチンと報告させて頂きました。

浅野目 義英 ◆プロフィール◆

- ◆昭和33年5月27日東京生。
- ◆山形県米沢市育ち。◆4歳の時埼玉県へ。
- ◆法政大学社会学部卒。◆小学校教師を経る。
- ◆隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。
- ◆市議4期 (25~41歳)。◆37歳で全国最年少議長。
- ◆上尾市長選挙次点敗退。
- ◆その後予備校講師、武正衆議院議員政策秘書など、政治浪人7年余を経て、埼玉県議会議員当選。



人の輪の中に入る



民主党・無所属の会 浦和区支部(あさのめ事務所) 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501
TEL048-883-6560 FAX048-881-0527 e-mail info@asanome.com

www.asanome.com

福祉教育

光を失った教師 再び現場にたたせよ



あさのめ 人にとり光を失うということは筆舌に尽くしがたい苦難。私は青年会議所時代、アイマスクをつけ駅階段で昇降歩行体験をしたことがある。「こんなに苦勞をされているのか」と目が不自由な人の立場を初めて実感した。暗闇の中の不安と恐怖は強烈な印象として心に刻まれている。

しかし、逆境をはね返し不屈に挑戦を繰り返して、全盲のピアニスト、全盲のテノール歌手、全盲の弁護士、全盲のマラソンランナーなどの方々が様々な活躍されていることは議員各位も執行部各位もご存じのはず。

全国視聴覚障害者教師の会によれば全国で教壇に立つ視聴覚障害の先生は約60人。とかく盲学校での勤務になりがち。普通校での門戸を広げられないか。

知事はよく「誰でもチャンスがある社会がよい社会」と述べている。福岡出身だから知事はダメ。女性だから副知事はダメとは私は聞かない。すべての人にチャンスがあるということ。運命のいたずらで光を失った県立盲学校勤務の先生がいる。彼はもともと中学校教師。サッカー部の顧問でグラウンドで生徒と一緒に走り回る活発な、そして生徒から大変人気のある、また熱心に生徒と夢と希望を語る国語の先生だった。

両眼とも網膜剥離で右目視力0、左目は光を感じるだけ。だが普通校で再び教壇に立ちたいとの希望を持っていて。「目が見えなくなった盲学校で」とか「いくら望んでも普通校では環境が整わないから働けない」とか「通勤に片道2時間半、5時間半かかろうと知らない」という県教育委員会の姿勢には納得できない。

埼玉保己一の偉業を顕彰している埼玉県が理念を守り抜くためにも、全盲となった教師が普通校の現場で再び教壇に立つことへの道筋はかるべき。教育委員会が判断することだが、知事の深い理解と強い指導力を求めたい。

知事答弁 教育委員会にお願いするとややこしいことを受けたいという文化もゼロではない。すぐに対応したい。面倒くさがらず、多くの人たちにチャンスを与えられるようなこと、真剣に教育委員会に取り組んで欲しい。

地方財政

海外資本家や外資の県債購入 格付取得で応えよ

あさのめ 海外投資家や外資系企業が、地方自治体が資金の調達のために発行している地方債の購入に向け、極めて意欲的に名乗りを上げている。彼らが、視線を熱く注いでいるのは、国が後押ししているのが一因。来年1月から海外投資家が保有する地方債の利子収入にかかってきた所得税や法人税は非課税になる。参入の動きは一気に加速するだろう。

改めて言うておくと、私は「積極的に借金しろ」と言っている訳でも、これから言う訳でもない。資金を作るなら金を借りるなら、資金調達先を分散させたらどうかという手法の起債は埼玉県の名度アップにつながるのではないかと。投資家層も増えるのではないかと。調達したコストも下がるのではないかと提言したいだけだ。

私はここに至り、海外投資家が買いたくなるような、買いやすくなるような埼玉債の信用格付取得せよ。

説明会など開き、県債を売り込む考えがあるか。外資に売り込むことによって、外資系企業の埼玉県進出にもつながる可能性があるも出てくると思う。

知事答弁 外国人投資家にとり埼玉県債が魅力的銘柄になるように努力したい。海外企業の誘致にもつながるという指摘、全くその通りと思っている。

借入しろ」と言っている訳でも、これから言う訳でもない。資金を作るなら金を借りるなら、資金調達先を分散させたらどうかという手法の起債は埼玉県の名度アップにつながるのではないかと。投資家層も増えるのではないかと。調達したコストも下がるのではないかと提言したいだけだ。

私はここに至り、海外投資家が買いたくなるような、買いやすくなるような埼玉債の信用格付取得せよ。

説明会など開き、県債を売り込む考えがあるか。外資に売り込むことによって、外資系企業の埼玉県進出にもつながる可能性があるも出てくると思う。

知事答弁 外国人投資家にとり埼玉県債が魅力的銘柄になるように努力したい。海外企業の誘致にもつながるという指摘、全くその通りと思っている。

二人の若者(星野、田中)に、あさのめの議会活動を外部評価していただきました。

防災

埼玉県庁 地震防災の指揮所としての機能 早急に固めよ!



あさのめ M7級地震が首都圏で30年以内に発生する可能性70%。政府は18パターンの首都直下型地震を想定。被害のレベルをシミュレーションしている。埼玉県で死者が出るもの8パターンもある。しかもHP上こうコメントされている。「荒川沿岸部は軟弱地盤が広範に分布。地震動が地表で増幅されやすい。液状化発生しやすい。同程度地震が他の地域で起きた場合に比べ大きな被害が想定」県民の命と財産を守り抜くため地震対策を完全なものとする論を待たない。しかし、他の都道府県に比し対策にかなりの差をつけられている。そもそも地震対策の県の真剣な意気込みが伝わってこない。

あさのめ ①県の顔と言える埼玉県HPのトップには、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパナー」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件1年間約576万件ものアクセスがあるこのHPに、いったん危機となれば、安全情報を求め膨大なアクセスが殺到するはず。パナーを貼り県民に防災情報の門戸を広げべき。

答弁 今後速やかに作成する。

トップには、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパナー」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件1年間約576万件ものアクセスがあるこのHPに、いったん危機となれば、安全情報を求め膨大なアクセスが殺到するはず。パナーを貼り県民に防災情報の門戸を広げべき。

答弁 今後速やかに作成する。

実現!! 今更無かったのが信じられません。わずか2年で40万アクセス!どんなに県民の安心感に寄与しているのかと思えます。

②本庁舎は築55年、耐震強度は0.16。0.3未満で倒壊の可能性が高くなる。これで防災の中核機能果たせるのか。対策の指揮所であるはずの埼玉県庁本庁舎の耐震能力は著しく低い。耐震強度算定の基礎データである、コンクリート強度または中性化の数値明らか。

答弁 「議事堂を除き県庁舎全てが強度不足」という診断結果だ。コンクリート強度2500t。中性化8.1mm。これらをコネクトする「渡り廊下」三本の連絡橋の耐震強度は調査していないのでは。この部分の耐震強度を明らかに。

答弁 していない。

あさのめ ④現状、防災行政無線室は第2庁舎8階、災害情報連絡室は同3階、庁議室は本庁舎2階。連絡調整の部屋が第2庁舎301会議室、警察消防自衛隊などとの連絡調整部屋は狭溢で劣悪。テクノロジーとは縁遠く、ハイパフォーマンスとは言い難い。これで十分機能していくのか。

答弁 迅速な対応を行う上で課題がある状況だ。

あさのめ ⑤分散タコ足で動線考案のと連絡調整や情報収集に時間がかかり過ぎるはず。加えて、第2庁舎の各部屋などには、内部のパーティションがひしゃげ積み上げてある荷物がひっくり返ることよく予想できる。指揮所と呼ぶにふさわしい災害対策本部を一所所に置き機能を集中させるべきではないのか。

答弁 災害対策本部として必要な機能、集約化につき庁内検討会を設置。現在検討を進めている。

埼玉県は本当に安全か? 単なる幻想、意識改革必要。

「埼玉県は災害が少なく安全」とよく語られる。しかし、科学的データも根拠も全く聞いたことがない。

県庁所在地で、今後30年以内に震度6以上の地震が起きる可能性は第3位だ。

県ホームページに災害情報のパナーがなかった。県庁自体が一気に立ち返るBCPもなかった。全て改めるよう直言し実現させた。

命を守る気迫をこれからも県に求め続けていきたい。

都府県	地震調査委員会
1 東京都	32.9%
2 神奈川県	27.2%
3 埼玉県	12.1%
4 千葉県	11.4%
5 茨城県	6.3%
6 栃木県	0.5%
7 群馬県	0.3%

(注) 地震調査委員会の調査結果

実現!!

今更無かったのが信じられません。わずか2年で40万アクセス!どんなに県民の安心感に寄与しているのかと思えます。

星野さん

実現!!

迅速な対応を行う上で課題がある状況だ。

田中君



防災センター 平成23年3月、浦和区に完成する。

実現!!

災害状況をスクリーンで共有できる設備さえ、県で持ち合わせていなかったのは驚きです。県全体をカバーする地震などの防災のコントロールタワーが完成して安心です。多くの命が救われることになると思います。

田中君

実現!!

県債格付取得へ 投資家に健全性PR

「安定的な資金調達のため、県債の信用格付取得は、県にとり標準装備となるはず」とあさのめさんが訴えているのは、とても納得できました。

なぜそのことを今までスピード感も展開できなかったのか疑問です。これからは埼玉の人気にもつながっていくのではないのでしょうか。

田中君

実現!!

長瀬中で「復帰」したこの先生の歩みは本にもなり感動を呼んだ

星野さん